

「二度と戦争しない」

戦後
77年

かつて日本は自ら起こした侵略戦争で、自国の310万人、アジア諸国2000万人以上の命を奪いました。二度と戦争はしないと誓った日本国憲法9条に基づく平和外交に徹し、核兵器禁止条約に参加することこそ、いま日本政府に求められる平和構築の道です。



必要
なのは

9条をいかに かすこと

軍拡で平和は築ける？

岸田政権は「核兵器のない世界」を標榜しながら、核兵器を禁ずる唯一の条約である核兵器禁止条約への参加は拒否しています。それどころか「核抑止力」を強調し、アメリカの核戦略に積極的に入ろうとしています。

岸田政権が狙うのは、米軍とともに自衛隊が他国を先制攻撃する「敵基地攻撃能力」（反撃能力）の保有と大軍拡、軍事費倍増です。そのために憲法9条を変えようと躍起です。しかしこの路線は市民生活を壊し、近隣諸国との緊張を高め、軍拡競争を引き起こすだけです。

軍事同盟によらず

今年は、日本をアメリカの軍事戦略に組み込んだ旧日米安保条約発効から70年です。安保条約の下で日本はアメリカによるベトナム戦争やイラク戦争の出撃基地とされ、今やアメリカの要求のままに自衛隊増強を進めています。

世界の圧倒的多数は非同盟です。話し合いで平和を実現する努力は、諸外国で実践されています。日本も憲法の理念に即し、軍事同盟によらない外交を軸にした平和構想を展望するときです。



沖縄を平和の拠点に

米軍占領下にあった沖縄県の施政権が日本に返還され、今年で50年です。沖縄返還を実現させた県民の願いは、「基地のない平和な沖縄」でした。しかし今も沖縄には米軍基地が集中し、名護市辺野古には新基地が造られようとしています。

沖縄県知事選（8/25日告示、9/11投開票）で、基地建設断念を国に迫ってきた現職の玉城デニー知事が再選することが、「基地のない平和な島」の実現に不可欠です。「沖縄を平和の拠点に」の願いを寄せてください。

日本平和委員会

2022年8月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです

<http://j-peace.org/>

東京都港区芝1-4-9平和会館4階

TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277